

七ヶ宿町水と歴史の館

～ 開館20周年記念 ～

「資料が語る町の歴史と文化財」

期間：平成25年7月21日（日）～10月20日（日）

平成5年に開館した水と歴史の館は、今年で20年目の節目の年にあたります。

これまで寄贈又は寄託された資料を、広く町民のみなさんに知っていただくとともに、絵画や民俗資料等の常設展示も含め、町の歴史と文化財を考える機会といたします。

また、芥川賞作家古山高麗雄氏の足跡や七ヶ宿との関係を辿ります。

【展示資料概要（一部）】

1. 宿場・街道に関する資料

江戸後期 「松窓乙二直筆の句」（掛軸）（寄託）

明治3年 「駅通司制札」（寄託）

2. 村政に関する資料

安政3年 「懐妊調書上（赤子養育制度）」（寄託）

嘉永3年 「湯原村人別改帳控（檀家制と宗門改）」（寄託）

3. 戊辰戦争に関する資料

慶応4年3月 「会津御追討方御用留」（寄託）

4. 絵画

年代不明 「布袋図」（当館所蔵）

昭和36年 「向井潤吉作 七ヶ宿街道関宿風景」（当館所蔵）

5. 古山高麗雄に関する資料

有名作家などの書簡（当館所蔵）

高麗雄文学コーナー（当館所蔵）

6. 写真

ダムに沈んだ古里の風景写真（後藤東陽氏）

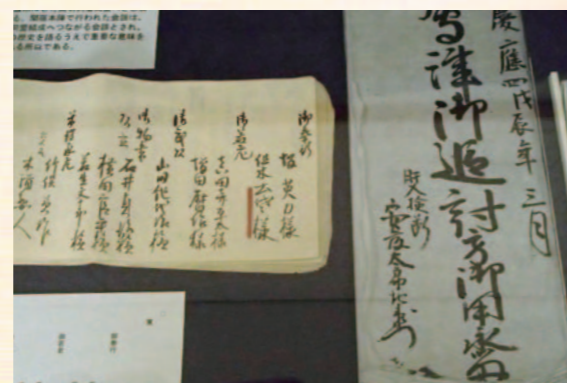
7. 生活民具資料

農機具、消防団関係 外

※期間中は展示替えを行う予定です。

◎町民の方は無料で見学できます。たくさんのご来場お待ちしております。

●お問い合わせ 七ヶ宿町水と歴史の館 ☎37-2739



戊辰戦争「会津御追討方御用留」



自動車部と湯原分団による火災防御訓練

6月12日、湯原小学校を会場に6・12総合防災訓練が開催されました。当日は、湯原小学校、関保育所、湯原地区住民、防災関係団体合わせて150名の皆さんが参加し、七ヶ宿町内を震度5強の地震が襲ったと想定した訓練が行われました。



白石消防署七ヶ宿出張所による救出・救護訓練



湯原地区住民安否確認訓練の様子

訓練では救出・救護訓練や火災防御訓練、非常食を用いた炊き出しの試食コーナーや、災害時に役立つ応急手当法の体験が行われ、皆さん真剣な表情で訓練に臨んでいました。



婦人防火クラブと日赤奉仕団による炊き出し訓練



救急応急手当訓練の様子



関保育所の子供達による防火の誓い

大地震時の防災豆知識

1. 「ぐらっと来たら机の下」は必ずしも適切ではありません。地震災害時の死者の80%以上が家屋や家具の下敷きになったことによる圧死です。机の下では俊敏な動きができませんし、大地震時は机も飛んでいきます。大きな部屋の机の下よりも、一般的には狭くて飛んでくる大型家具もない「玄関」が安全ゾーンです。
2. 「慌てて外に飛び出さない」は落下物があり危険な場所での話です。危険な落下物がないと思われる家では、外に飛び出した方が生存率が高いと考えられます。また、大地震では古いビルや建物の1階はつぶれる可能性があります。1階にいる場合はただちに窓等から飛び出した方が助かる可能性が高いと考えられます。
3. 災害時に食料が無くて餓死した例はないそうですが、水がなければ脱水症状になります。三日間は過ごせるだけの水を用意しましょう。また、食料はカンパンよりも「個装もち」や「レトルトのおかゆ」など、水を必要とせず、熱だけで暖かく食べられるものがお勧めです。

（※参考：横浜市アマチュア無線非常通信協力会HPより）